



# 八軒つうしん



## 巻頭言

### 節目に当たって

会長 菅井 茂



平成最後の正月は穏やかな天候に恵まれ、

仙台の「初

売り」は大賑わいでした。また今上天皇が国民から新年の祝賀を受けられる最後の「一般参賀」には、15万人を超す大勢の人たちが皇居を訪れたそうです。今上天皇が4月30日にご退位され、新天皇が5月1日にご即位されることになっておりますので、4月末日までは「平成最後の」という言葉がよく使われることとなります。それは「平成」という時代の名残を惜しむとともに新しい時代に向けての期待感の表れでないかと思えます。

元日に行われた平成最後の「全日本実業団駅伝」で、同窓生の村山紘太君(1区)と

謙太君(5区)の両名は今年も頑張つて走り、旭化成の3連覇に貢献しました。彼らの活躍は我々の誇りでありまた希望でもあります。彼らはまだ東京オリンピックの出場権を得ていませんが、是非出場権を獲得できるよう願っています。

さて、今年「元号」が代わり、また統一地方選挙や参議院選挙があり、秋には消費税も10%にアップします。また外交的には日本海を隔てた大陸諸国(中国・韓国・ロシア・北朝鮮)との問題が複雑化しており、更には米中貿易摩擦問題でも大きな影響を受けることは必定で、我々国民はいろいろな意味でしつかりしなければならぬと思つて

います。ただ景気の見通しを見ると、日本政府は実質成長率13%程度で前年と比べて景気拡大のペースが加速すると捉えており、また国内の主要企業150社へのアンケート結果を見ると、景気が緩やかに拡大すると捉えているのが

63%、横ばいと捉えているのが33%もあり、政府と同じ様な見方をしているようです。しかし、IMF(国際通貨基金)は減速するであろうと判断しているようです。果たして日本経済はどのようになるでしょうか。

以上述べたように、今年いろいろな節目の年に当たります。同窓生の皆さんが、この節目を生かし、自分の可能性を信じ、いろいろな面からなる発展をされるよう祈念しております。

ところで、この「八軒つうしん」が皆さんの手に届くころには、今年の「宮城県公立高等学校入学選抜試験」は終わっていると思えますが、来年のそれは大きく様変わりするようです。平成5年以来続いた二本立ての入試制度(「推薦入試と一般入試」から「前期入試と後期入試」に替わっていた)が、来年からは一本化され「一般入試」だけになります。昔は「一般入試」だけだったので、形としては

昔に戻った感じですが、詳しいことは分かりませんが、試験の内容が違うようです。中学生の皆さんは新しい入試制度にきちんと対応できるようにしつかり準備をしてください。「高校入試」は自分の夢をかなえる第一歩です。「苦勞は若いうちにせよ」とか「若い時の苦勞は買つてでもせよ」と昔の人は言いました。私の実感としてもそうだと思います。「若い時に汗を流さない人は、年老いてから涙を流すようになる」という人もいます。「勉強する」ことは決して無駄ではありません。自分で自分の道を切り開くことができるのが「高校入試」だと思います。それ故、堂々と「高校入試」に当たってほしいと思えます。



**平成29年度代表幹事会**

**総会を兼ねて開催**

平成30年3月3日、八軒中学校舎・図書室において、平成29年度代表幹事会(総会)が開催されました。

今年度は、新制70周年(創立82周年)記念式典・祝賀会があったため、代表幹事会が総会を兼ねることになりました。

平成29年度の活動状況、会計報告、八軒中学校新制70周年(創立82周年)記念事業の報告、決算報告の後、会則改正、慶弔規定制定について協議が行われ、一部修正の上承認されました。

また、役員改選が行われました。併せて事務局員についても承認されました。新しい執行部の体制は、次のとおりです。

**参与**

- 石川 一博(八軒中学校校長)
- 石田 浩一(八軒中学校校長)
- (平成30年4月から)

**相談役**

- 高橋 誠
- (第3代同窓会長・第4回生)

会長 菅井 茂(第13回生)

副会長 佐藤 徳子(第13回生)

飯沼 恒一(第15回生)

監事 今野 喜郎(第19回生)

福島 一恵(第29回生)

事務局長 安達 和則(第17回生)

庶務担当次長 直野 まり(第18回生)

庶務担当 猪又 隆広(第52回生)

企画担当次長 佐藤 典郁(第42回生)

企画担当 今野 廣一(第18回生)

広報担当次長 (平成30年9月から)

永田 淳子(第27回生)

広報担当 高橋 麻詞乃(第36回生)

永田 敏哉(第52回生)

会計担当次長 遠藤 恭郎(第26回生)

事務局担当 鈴木 泰(八軒中教諭)

武田 研一(八軒中教諭)

齋藤 光(八軒中教諭)



「つきだてや」で交流

会議終了後は、第29回生の佐藤博昭さんが腕を振るう河原町の「つきだてや」に会場を移して、世代を超えて交流を深めました。

**同期が集えば(1)**

**第13回生(昭和35年卒)**

第13回生の菅井茂君(八軒中同窓会長)が平成30年春の叙勲で瑞宝小綬章を受章されました。

叙勲のお祝い会を「つきだてや」で6月19日開催しました。周知する時間が少なく、八軒中周辺の同期生有志19名が集まりました。

司会者から菅井君の叙勲までの職歴の紹介があり、続いて同期会会長の庄司茂雄君の乾杯及びお祝いの言葉で始まりました。その後花束贈呈が出席女性の代表からあり、菅井君から感謝の言葉並びに自分の略歴の報告がありました。出席者の皆さんは、それで受章されたのだと仕事ぶりを聞いて納得しました。特別に参加したいと出席した仙台一高の同期生の浅見紀夫君(仙台一高同窓会長)からも菅井君へのお祝いの言葉をいただきました。そのあとも出席者のみさんからのお祝いの言葉を頂戴しました。楽しく過ごした時間もすぐに来てしまい、同級生の小幡秀雄君の乾杯で終了しました。今回は時間もなく同期生全員に周知することができませんでした。

同期会は次回開催が喜寿の

お祝い会なので、それまでは是非元気で過ごしていきたいと思います。と参加者全員で誓い合い散会しました。  
**(大槻 哲)**



菅井同窓会会長の叙勲を祝って

**第 17 回生 (昭和 39 年卒)**

「古希を祝う会」

「第 11 回四ツ葉 39 会」は古希を祝う会としました。この会は、還暦の年にスタートし、東日本大震災の年も欠かさず開催

し、当初目標とした 10 年を完遂することができました。

今回は、10 月 14 日、遠刈田温泉「たまや旅館」を会場に、25 名の参加がありました。総会前のイベントとして「マグロ解体ショー」を嵯峨完さんにやっていただきました。当日のマグロは、豊洲市場で初めて買い付けたもので、とろけるような美味しさに皆さん舌鼓をうっていました。食べきれない分は皆さんお土産として買って帰られました。嵯峨さんは、今でも被災地で「マグロ解体ショー」を開催し、被災者の力になつていきます。仙台東真田家 14 代当主真田徹さんも参加していて、「歩いてつなごう！みちのく宮城の真田の郷・白石市と蔵王町」のイベントの紹介があり、ご当主も歩くので同期生にも参加のお誘いがありました。

今後の「四ツ葉 39 会」の存続については、現執行部の解散は決定していません。その後の在り方について、総会においてご意見をいただきました。その結果「四ツ葉 39 有志会」への参

加登録を募ることになりました。会則はつくらずに、登録参加者でグループをつくり、グループ幹事会でイベントを企画していくことになりました。

懇親会では、サックス演奏あり独唱ありの盛り上がりで、話は尽きず二次会への突入となりました。

多感な中学時代、生意気ざかりで、いっぱしの大人になったつもりで精一杯背伸びしていた昔を、同期生と一緒に懐かしむ日が一日位あってもいいのではないのでしょうか。

**(安達 和則)**



たいこ茶屋 (嵯峨完さんのお店) 名物「鯧解体ショー」(たいこ茶屋ホームページより)

**第 18 回生 (昭和 40 年卒)**

昨年も、恒例となったゴルフコンペ、納涼会、忘年会で楽しく交流しました。

◎南材・八軒ゴルフコンペ

2018 年 4 月 5 日

参加 13 人

◎太白カントリークラブ

2018 年 7 月 12 日

参加 16 人

◎カントリークラブ

2018 年 10 月 19 日

参加 9 人

◎カントリークラブ

2018 年 8 月 3 日

参加 29 人

◎伊達の牛タン

2018 年 12 月 15 日

参加 25 人

◎伊達の牛タン

2018 年 12 月 15 日

参加 25 人

◎伊達の牛タン

2018 年 12 月 15 日

参加 25 人

**(直野 まり)**

## 同期が集えば(2)

## 第15回生(昭和37年卒)

2年ごとに集まる15期の同期会で気持ちを揺さぶられた事があります。

皆さん元気なのですが、その中で特に明るい友人が臓器を一部取ったとか、あるいは手術をしたと私に告白したわけです。原因は癌なんでしょうけど、こんなに明るい人がまさかと驚きました。翻って考えてみると癌というのは今、二人に一人がかかるわけで、私もいつ癌になるかと常々考えてるわけなんですけど、友人は同期会で笑いが絶えないのでそのギャップに驚き改めて聞くわけにもいかず考え込んでしまいました。

病気に立ち向かう姿勢をみたときにふと今年の春の事を思い出しました。

それは森林管理局(林野庁)の全国大会が旭川でありまして、現地研修で現場を見に行きました。今でも噴火している十勝岳の上富良野側なんですけど、溶岩流に対するコンクリート擁壁を

作っている現場でした。擁壁は溶岩流に対して直角ではなく流れを変え、あるいはその速度を落とす目的で造ってました。

その後、旭川を代表する三浦綾子の「泥流地帯」という小説を思い出し読むことにしました。「泥流地帯」というのは大正15年5月24日、十勝岳の噴火によってまだ深く残っている雪を溶かしながら溶岩流が上富良野側に流れ、144人の尊い生命が失われました。犠牲者は開拓農村の人達で畑も水田も硫黄を含んだ泥流と流木で再起不能になるまで荒らされました。30年以上かけて畑や水田を作ってきた人達を三浦綾子は被害に遭った開拓農村の子供達を主人公にしての生い立ちをメインテーマにしてます。奇跡的に生き残った主人公は、泥流に侵された田畑を見て呆然とし奈落の底に落とされるわけです。しかし、自分の親や兄弟も亡くなくても悲しみを乗り越えて、死にもぐらういで流木も泥流も排除していき、じいさんばあさんが頑張って開拓した土地を元に戻そうと

する日常を描いています。

天災は相手が真面目な人間であらうがなかるうが関係なくやってきます。つまり善因善果悪因悪果という考えは人間の願望にすぎないのです。

その無慈悲な天災に対して主人公達はなぜこんなに苦しい目に遭うのだろうと泣き言や不満を言いながらも、4年目にしてようやく水稲が実るようになるまでのストーリーを書いているんですが、どんなことがあってもあきらめないという1本の命題が主人公の言動を通して三浦綾子は訴えてるわけです。

一方、病気の癌はどんなに健康管理しても癌になる人はいらるわけです。私の知人で若いときからヘビースモーカーで85才の今でも肺がんにならずに元気な人もいればタバコを吸わないのに肺がんになる人もいます。つまり癌という病気は人にとって天災と似ています。内臓の一部を取った私の友人達は会社勤めで元気です。また女性は習い事をして元気はつらつと生活しています。その姿とあの「泥流

地帯」に出てきた主人公達との姿が一瞬ダブってみました。

そして「泥流地帯」の主人公達と同じように友人達は病気を試練と捉え元気に立ち向かっているのだと気づきました。一生懸命頑張る友人に直接会えたことに感動しすごく励みになりました。

同期会というのは懐かしいだけでなく、私の人生の中で有意義な瞬間を与えて頂きました。

北海道北見市留辺蕊町にて

(松谷 豊二)



同期会、それは私の人生の中の有意義な瞬間

**第22回生(昭和44年卒)**

去る2018年11月23日に、3年ぶりに第3回仙台市立八軒中学校昭和44年卒同期会を開催しました。

当日は連休初日で時候も良く、市内では様々な催しものがあり、会場の「パレスへいあん」周辺の、仙台駅から市中心部に向かうアーケードは雑踏で溢れており、歩くスペースの確保も真間ならないほどで、こんな時期に日時を設定したのは少し無理があったかなと感じました。事実、前回までの参加者の中には行事が重なり、やむなく欠席となった仲間が少なくは有りませんでした。また、その日は強風で更に気温も低かったため、出席率が気になりましたが、我々幹事が見込んでいた参加予定者全員が元気な顔で集合してくれましたので、この点ではほっと一安心しました。

今回は、仙台等地元在住の6名の幹事で会の準備から進行まで担いましたが、前回、前々回の首都圏幹事4名を含め、総勢48名の同級生の参加を得まして、

時間を忘れて楽しく和やかに過ごすことができました。

特に、この度新たに所在が判明し初参加となった数名の仲間が、50年ぶりの再会を抱き合せて喜び、懐かしそうに大声で談笑しあう姿は強く印象に残りました。

各自の近況報告では、65歳という年齢の境遇が物語るように、「間もなく現役の仕事が終わる」「既に習い事や晴耕雨読で悠々自適の生活を楽しんでいる」「粗大ごみ扱いされている」「親の介護や孫の世話で大変だ」といった内容の話が次々に飛び出し、その度に会場には同調の声や笑いの渦が湧き起りました。

歓談は会が進むにつれ盛り上がりましたが、このような楽しいひと時というのは瞬く間に過ぎるもので、早くもお開きの

時間が近づいてきました。ここで、次回の幹事を選出し、2く



3年ぶり第3回の同期会 50年ぶりの再会となった人も

3年内の第4回開催を目指して頑張ろうということ、中締めとなりました。

最後に、満足そうに、けれども名残惜しそうに会場を後にする仲間を見て、今回も二次会を設定したほうが良かったかなと、その時しみじみと考えさせられました。  
(高久 俊一)

**新しい仲間**

平成29年度(第71回)八軒中同窓会入会式は、平成30年3月9日に行われ、男子71名、女子50名の計121名を、新たに同窓会に迎えました。

当日は、先輩として第20回生の庄司伸一さんから「はなむけの言葉」が贈られました。

**特報!**

**校歌がダウンロードできます!**

校歌が八軒中ホームページのトップページからダウンロードできるようになりました。同期会、クラス会でご活用ください。

「いめこやう」

伝統を受け継ぐ

仙台市立八軒中学校

校長 石田 浩一



今年度4月に八軒中学校に赴任してまいりました。歴史と伝統のあ

る学校と伺っておりましたが、まず初めにそのことを実感したのは、校門をくぐり昇降口で迎えてくれた三つの校訓「美しくたくましく つつましく」の文字を見つけた時でした。特に「つましく」という言葉は、最近ではあまり使われない言葉ではありますが、現代社会で忘れかけている大切な意味を持つ言葉のように感じられました。この言葉が「美しく たくましく」と結びつけられて校訓となっ

くつかを解決する重要なキーワードとなるのではないかと感じました。この校訓を設定した先人の方々の、知恵の深さに敬服するとともに、脈々と受け継がれてきた教育に対する信念の強さを感じました。そして1年間様々な学校行事を経験する中で、歴代の教職員・父母教師会だけではなく、同窓会の皆様や地域の方々に支えられ、見守られてきたことがよく理解できました。

校舎も伝統があり、少々古くなってきた感じも受けますが、来年度9月から南校舎の大規模改修工事が始まる予定です。現在の南校舎が建てられたのが、記録によると昭和51年3月に新校舎第2期落成とありますので、



大規模改修が予定される南校舎

43年程経過したことになります。大規模改修工事では、南校舎の内部、廊下や教室の床の張り替え、トイレの改修工事、照明器具の交換等が主なものであり、外観は特に変わらないようです。工事は約2年間の工期になるようであり、校庭はこの期間、ほぼ使用できない状況になる見込みです。改修しない北校舎へ教室を移動し、空いたフロアから工事に入り、工事が終われば移動して別のフロアを空けて工事を繰り返す、大変手間のかかる工事になるようです。そしてこの工事と並行して念願のエアコンが各普通教室、職員室等に設置される予定です。(9月からの工事なので残念ながら来年の夏は使用できないようです。)校舎がきれいになり、快適な環境となりますが、変わらぬ校訓、教育の信念はしっかり受け継ぎ、更に発展させていきたいと考えております。

結びになります。同窓会の皆様の常日頃よりの御支援・御協力に深く感謝申し上げます。また、同窓会のますますの発展を祈念し、あいさつとさせていただきます。

若林城下の八軒中学校

仙台市立八軒中学校

教諭 武田 研一

(同窓会事務局担当)



今年度、八軒中学校に赴任いたしました。若林区内の中学校に勤

務することは、初めてです。

しかし、かつて長町に住み、本校に隣接する中学校に通勤していたので本校の学区は馴染みであり、春には家族で広瀬川岸辺の桜を見に来たり、子どもがこの地区のサークルに通っていたこともありました。また、学生時代の友人も古城に住居を構えているので彼には着任の挨拶の電話をした次第です。

さて、テレビ番組のプラタモリで仙台が取り上げられました。宮城刑務所付近に一国一城に反する伊達政宗第2の城、若林城

があつたのは幕府には自分の隠居用の屋敷だと申請したそうです。そして、第2の城、若林城を中心に新たな城下町を隠密に築城しており、刑務所の外壁は若林城の土塁の名残です。本校は仙台的の長い歴史に培われた環境で創立70年以上の歴史と伝統がある中学校であることに生徒や卒業生の皆様は自信と誇りを持たれていると思います。

私は、宮崎県小林市生まれで小林市立小林中学校卒業です。小林中学校も本校と同じ年に創立です。2年前、両親の納骨で26年ぶりに帰省しました。町の中心部から店舗が消え、閑散としていました。『ふるさと』は遠きにありて思ふもの。故郷を持ち、そして、なかなか帰郷できないほど、多忙だったと思います。昨年は大河ドラマで『西郷どん』が放映されましたが、桜島や霧島の風景が映し出されると、ふと『ふるさと』は遠きにありて思ふもの』であることを痛感しました。故郷は西南戦争で西郷軍が敗走した場所です。八軒中学校も私の故郷もそれ

ぞれの地域の歴史と深い関係があります。その先人が培った過去の歴史と伝統を次の世代に引き継いでいくのが中学校が果たすべき大きな役割だと思います。今後とも同窓会の皆様には八軒中学校を支えていただきますようよろしくお願いいたします。

在校生の活躍ぶり(1)

《運動部》

平成30年度

仙台市中学校総合体育大会

① 陸上

男子 砲丸投げ 7位

2・3年 1500M 7位

女子 100Mハードル 3位

低学年 400Mリレー 5位

② サッカー(若林区) 3位

③ ソフトテニス 5位

男子 個人 2位

女子 個人 5位

④ 特別支援学級卓球大会 2位

男子 Dブロック 2位

(青葉・太白・若林区)

C1ブロック 2位

男子 2位

C2ブロック 3位

⑤ 駅伝競走 3位

女子 3区 2位

⑥ 剣道 3位

⑦ バドミントン 2位

男子 シングルス 5位

女子 ダブルス 3位

第67回

宮城県中学校総合体育大会

① 陸上

男子 砲丸投げ 3位

女子 100Mハードル 4位

800M 8位

3位、



陸上女子

宮城県大会 金賞

・全日本アンサンブル コンテスト第52回宮城県大会 予選 仙台宮城野・若林地区大会

管打楽器八重奏 金賞

管打楽器六重奏 金賞

・第33回宮城県管打楽器ソロコンテスト 予選 優秀賞

県大会 金賞・パツハホール賞

合唱

・第85回NHK全国音楽コンクール 銅賞

・第70回全日本合唱コンクール宮城県大会 銀賞

・平成30年度TBCこども音楽コンクール 宮城地区大会 優秀賞

宮城地区大会 優秀賞

合唱の部 優秀賞

東北大会 優秀賞

合唱の部 優良賞

・全日本吹奏楽コンクール 第61回宮城県大会予選 地区大会 金賞

仙台太白・宮城野・若林地区大会 金賞

吹奏楽

・全日本吹奏楽コンクール 第61回宮城県大会予選 地区大会 金賞

仙台太白・宮城野・若林地区大会 金賞

在校生の活躍ぶり(2)

《その他》

・第1回学校体育着プリント  
デザインコンクール  
最優秀賞

・第6回復興の詩独唱  
コンテスト  
銀賞、銅賞

・第88回全国書画展覧会  
特選、金賞、銀賞

・宮城県小中学校児童生徒  
書きぞめ展覧会

毛筆 特選、金賞  
硬筆 特選、金賞

・第65回仙台市児童・生徒理科  
作品展 部会長賞

・第70回仙台市小中高学校児  
童生徒作曲コンクール  
入選

・第57回宮城県造形教育  
作品展 入選

《主な学校行事》

・入学式 4月10日

・1年生 校外学習 山形市  
5月16日

・2年生 野外活動  
南三陸町・加美町  
5月15～17日



2年生 野外活動  
海から学ぶプロジェクト



陸上カーニバル  
縦割りリレー

・3年生 修学旅行 東京

5月23～25日

・校内合唱祭 7月11日

・文化発表会 8月31日

・八軒中学校区総合防災訓練

10月20日

・陸上カーニバル

10月26日

・2年生 職場体験活動

11月6～8日

・1年生 仙台自主研修

11月6日

・同窓会入会式

3月7日

・卒業式

3月9日

※写真は八軒中ホームページ  
から転用しました。

お願い

代表幹事、クラス幹事

現在、代表幹事会等のお知らせは、執行部が把握している各期の代表幹事等へ送付しておりますが、連絡が取れなくなっている期もあります。

代表幹事、クラス幹事の方々は、転居、交代(変更)等の場合、忘れずに執行部へお知らせください。

求む！同期会、クラス会情報

「八軒つうしん」に掲載しますので、同期会、クラス会の開催情報を随時広報担当の次のアドレスまでお寄せください。メールアドレスを「八軒同期会(クラス会)開催情報」としてください。

E-mail:

emp119580717@yahoo.ne.jp

(yahooの次はcoではなくne  
です。)ご注意ください。

総会を開催します

◎日時

平成31年8月10日(土)

午後2時～

◎会場 レオパレス仙台

詳細は、代表幹事、当番学年、八軒中ホームページを通じてお知らせします。

※掲載に当たり執筆者の敬称は略させていただきました。

八軒つうしん第14号

発行日

平成31(2019)年

3月7日発行

発行者 八軒中同窓会事務局

〒984-1082

仙台市若林区南小泉

字八軒小路9-1

仙台市立八軒中学校気付